

ひと ひと
大垣市男と女のががやきまちづくり表彰歴

年度	区分	被表彰者	表彰理由
平成18年度	個人及び団体の部	特定非営利活動法人くすくす	安心して子どもを産み育てられる家庭・地域社会の実現を目指し、母親のための学習会やおしゃべり会などの自主事業を男女共同参画の視点から展開し、大垣市から指定管理の指定を受け、「子育て交流プラザ」の運営や子育てに関する相談、人材育成など幅広く事業を展開している。
	事業者の部	大垣信用金庫	少子化時代にあって、いったん退職した職員の復職制度、非正規職員の正職員への登用制度及び独自の育児手当制度を導入するなど、仕事と子育てを両立できる職場環境づくりに積極的に取り組んでいる。
平成19年度	個人及び団体の部	国際ソロプチミスト大垣	DV問題の研修、DV被害者の支援活動など、女性や子どもの人権、女性の地位向上に向けた活動に取り組んでいる。
	事業者の部	イビデン電子工業株式会社	結婚・出産などで一旦退職した女性職員の再雇用制度や、育児休業後の職場復帰を円滑にするための職場復帰プログラムを整備するなど、女性が仕事を継続するための環境づくりに取り組んでいる。
平成20年度	個人及び団体の部	大垣市消防団員 野間口真樹	女性初の消防団員として、市消防操法大会に選手として出場するなど、地域防災において活躍している。
	事業者の部	株式会社 大垣共立銀行	平成18年度に次世代育成事業所認定「くるみんマーク」を取得し、ワーク・ライフ・バランスを推進する次世代育成支援の優良企業としての取り組みが高く評価されている。 女性だけによる女性応援プロジェクトチームをつくり、多様な女性の生き方を応援する商品・サービスを開発するなど、積極的に女性活用の推進を図るとともに、女性管理職の積極的登用や法定を上回る育児休業制度、再雇用制度などを整備し、女性が働きやすく活躍できる職場づくりに積極的に取り組んでいる。
	事業者の部	太平洋工業株式会社	平成20年3月には、次世代育成支援事業所認定「くるみんマーク」を取得し、平成20年度には厚生労働省のワーク・ライフ・バランス推進モデル事業所の指定を受けるなど、優良企業としての取り組みが高く評価されている。 社の中長期経営ビジョン「ものづくりはひとづくり」の経営理念のもと、法定を超える育児休業や介護休業制度などの整備、年次休暇取得の積極的促進、所定外労働削減の

年度	区分	被表彰者	表彰理由
			ためのノー残業デーの実施の徹底など、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいる。
平成21年度	個人及び団体の部	高齢社会をよくする女性の会 岐阜	<p>少子高齢化が進むなか、高齢者問題を女性の問題としてとらえ、男女が自立し、互いに支え合い、住み慣れた場所で安心して老いることができる豊かな社会づくりをめざし、男女共同参画の視点に立った地域福祉の推進と、住民参画による地域力の向上を図るための実践活動を展開している。</p> <p>こうした活動は女性の人材育成にも寄与し、大垣市の男女共同参画社会づくりに大きく貢献するものである。</p>
	事業者の部	株式会社 ソフィア総合 研究所	<p>平成2年の創業当時より、経営理念に「男女区別せず」、「社員一人ひとりが働きやすい企業」を掲げ、男女がともに生涯を通じて働き続けることができる企業を目指し、子育てや介護をしながら働き続けることを可能にするため、個々の社員のニーズにあわせた様々な柔軟な支援策を実践している。</p> <p>また、女性管理職の登用にも積極的に取り組んでいる。</p>
平成22年度	個人及び団体の部	大垣人権擁護委員協議会 ペープサート啓発部会	<p>平成11年に、大垣市人権擁護委員協議会の有志30人で設立された人権啓発活動の部会。</p> <p>未来を担う子どもたちに、社会的、文化的につくられた性差を無くすため、ペープサートによる人権創作劇を西濃地域の小学校などを巡回上演し、子どもたちと交流を通して、男女平等教育の大切さを伝えている。</p>
	事業者の部	タカケンサンシャイン株式会社	<p>昭和45年から企業内託児所・タカケン保育園を設置、常時保育士を配置し、工場の操業日に合わせて運営している。土曜日や夏休みなどには、学童保育も実施している。</p> <p>また、従業員にとって働きやすい職場環境づくりのため、長時間労働の縮減や育児休業等の制度を整備し、子育てしながら働き続けられる職場環境づくりに取り組んでいる。</p>
平成23年度	個人及び団体の部	大垣市 連合婦人会	<p>昭和22年の結成以来、女性のネットワークをいかし、環境問題や高齢者の見守り、子育て支援など地域での婦人会活動に積極的に取り組み、男女共同参画社会づくりの重要な担い手として活躍している。</p> <p>特に、環境問題では、他の女性団体と連携し、トレ回収やマイバック持参運動などを全市的なリサイクル運動と</p>

年度	区分	被表彰者	表彰理由
			<p>して展開し、県下に先駆けたレジ袋の有料化に貢献している。</p> <p>その他、各地域で婦人学級を開講し、学びあいを通じ、より良い暮らしづくりや地域で活躍できる女性リーダーの育成などに尽力している。</p>
	事業者の部	株式会社セリア	<p>子育てをしながら、安心して働くことができる会社をめざし、労務管理や商品管理を効率的に行える店舗オペレーションシステムを導入し、接客業務などに女性の能力が十分に発揮できる職場環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>また、非正規から正規社員への登用を進めるとともに、採用枠にとらわれない評価システムを構築し、働き甲斐のある職場環境を整え、育児などで離職することなく、多くの女性が店長として活躍できる環境づくりに努めている。こうした取り組みを急成長する企業戦略につなげている。</p>
平成24年度	個人及び団体の部	大垣夢ある女性の会	<p>平成2年に設立されて以来、「あなたが輝くとき、まちが輝く」のテーマのもと、女性の社会参画の促進とネットワークづくりに取り組んでいる。</p> <p>毎年公開講座「DONNA（ドンナ）講座を開催し、男女共同参画やステップアップにつながる講座を提供し、参加者とともに、自己研鑽を積んでいる。</p> <p>平成24年度は、「自分と自分の周りを見直す」をテーマに、自分自身の生活や地域のことなどを見直してみようという講座を開講した。</p> <p>また、大垣市より「おおがき女性人材育成塾」の委託を受け講座を開講し、女性の人材育成のために尽力している。</p>
	事業者の部	株式会社ユタカファーマシー	<p>ドラッグストア・調剤薬局を岐阜県、京都府、滋賀県を中心に8府県下で展開している。</p> <p>育児・介護休業や短時間勤務制度等の仕事と生活の両立支援について、法的制度に加え、社内制度として相談窓口を設けるとともに、社員に分かりやすく、利用しやすい環境を整えている。</p> <p>さらに、福利厚生において、永年勤続表彰があり、正規社員、パート社員に関わらず、長期間働き続けている多くの女性社員が表彰され、リーダーとして活躍している。</p>

年度	区分	被表彰者	表彰理由
			また、多様な働き方、昇給制度を整え、女性にとって働きがいのある職場環境を整えている。
平成25年度	事業者の部	サンメッセ株式会社	<p>岐阜県の印刷業で、女性の営業担当を配属した最初の企業であり、現在も本社をはじめ各支店で女性の営業職が活躍している。</p> <p>女性のチームによる女性視点と発想でお客様に提案を行い、製造部においても女性ならではの視点できめ細かなチェックをするなど、働きがいのある職場を作り上げている。女性の活躍を推進することを重要なテーマの一つに位置付け、女性の積極的な採用と人材教育を実施している。</p> <p>また、育児・介護休暇の取得、勤務時間短縮措置は、小学校就学後も利用可能であり、子育て中の社員を含め女性社員が活躍できる環境づくりに取り組んでいる。</p>
平成26年度	個人及び団体の部	竹内 八千子	<p>平成17年度に結成された「大垣市男女共同参画フォーラム実行委員会」に当初から参加。</p> <p>平成20年度には、「全国男女共同参画宣言都市サミット in おおがき」の実行委員長を務め、平成23年度からは大垣市男女共同参画推進連絡協議会の会長となる。</p> <p>また、平成15年から9年9カ月間、人権擁護委員を務めた。</p>
平成27年度	事業者の部	TSUCHIYA株式会社	<p>厚生労働大臣認定の「くるみんマーク」を取得し、女性の能力活用について、女性課長及び、女性の現場監督への登用など、女性の職域拡大に取り組んでいる。仕事と生活の両立支援において、男性社員への育児休暇取得を奨励し、男性が育児休業を取得している。</p> <p>また、バケーション休暇の奨励や、「ノー残業デー」の実施などにより、時間外労働削減に努めるなど、就労にメリハリをつけた、ワーク・ライフ・バランスの推進に努めている。</p>
	事業者の部	タック株式会社	<p>厚生労働大臣認定の「くるみんマーク」を取得し、女性の能力活用について、女性課長の登用や、全職種において女性を配属するなど、女性の職域拡大に取り組んでいる。仕事と生活の両立支援において、子どもの就学前までの短時間勤務制度、小学校4年生までの時差出勤やフレックス</p>

年度	区分	被表彰者	表彰理由
			<p>タイム制度を設けるなど、子育てをしながら働きやすい職場環境整備を行っている。</p> <p>また、一斉年休取得日・年休取得強化日の設定や、「ノー残業デー」の実施などにより、時間外労働削減に努めるなど、就労にメリハリをつけた、ワーク・ライフ・バランスの推進に努めている。</p>
平成28年度	事業者の部	株式会社 足立総合経営研究所	<p>キャリアアップ制度による全社員のモチベーションアップ、生産性向上に努め、女性視点にたった仕事と生活の調和のとれた柔軟な働き方に取り組んでいる。</p> <p>税理士や社会保険労務士の資格を持った社員が、市内外にある顧客に対しても様々な社会保障、育児・介護支援制度の周知に努めたり、情報工房などを会場として、社員が講師となり、独自にセミナーを開催している。</p> <p>また、小中学校の長期休業時のシフト出勤、子の病気等による直前の休暇取得も可能にするなど、子育てしやすい職場づくりや、社員一人一人のワーク・ライフ・バランスの推進に努めている。</p>
	事業者の部	社会福祉法人 大垣市社会福祉事業団	<p>「男女問わず職員の仕事と生活の調和を応援すること」を経営理念の一つとし、全職員が安心して仕事に取組み、能力を十分に発揮できる職場環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>「くるみん休暇」という年休をほぼ全員が1日取得したり、半日・時間単位での年休取得や、子ども1人につき5日間の看護休暇等、多様な特別休暇を設けるなど、福祉サービスを提供する職員の働き方にも配慮する、ワーク・ライフ・バランスの推進に努めている。</p> <p>これらの取組みにより厚生労働大臣認定の「くるみんマーク」の取得や、「岐阜県子育て支援エクセレント企業」に認定されている。</p>